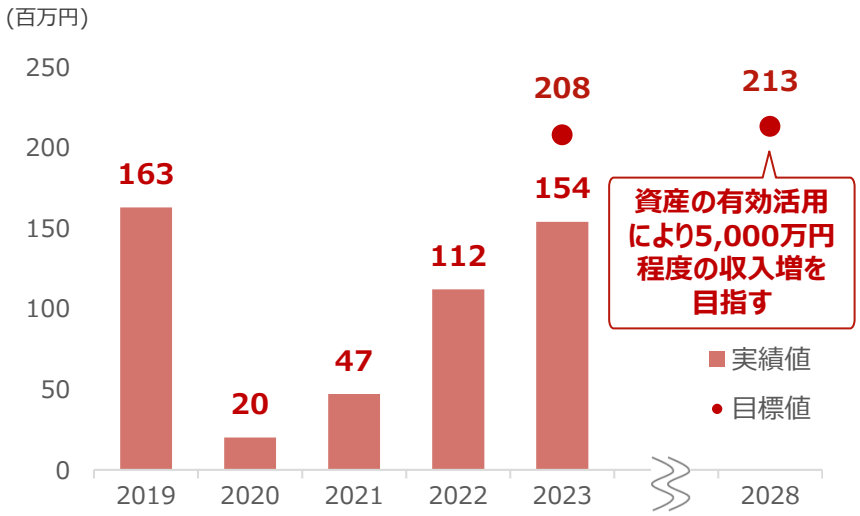
改革を支える財務基盤強化②：一橋講堂、エグゼクティブP収入

一橋講堂収入、エグゼクティブ・プログラム収入はコロナ禍の減少を経て2023年以降は本格的なV字回復へ

一橋講堂等収入＊

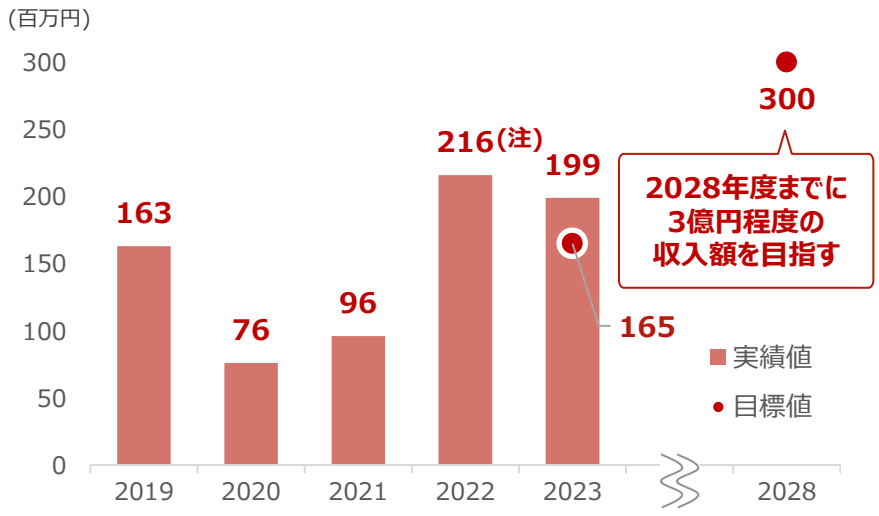


＊上記の実績値は一橋講堂収入のみ計上

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、一橋講堂収入はコロナ禍前の水準を回復

土地・施設の利活用に向けて、概ね10年程度の財源を含むキャンパスの具体的な整備計画を、キャンパスマスタープランとして2024年3月に公表

エグゼクティブプログラム収入＊



＊一橋シニアエグゼクティブ・プログラム(HSEP)、一橋大学財務リーダーシップ・プログラム等のマネジメント層を対象としたプログラムの収入

コロナ禍による一時的な減収はあったものの目標達成に向け順調に推移

(注)プログラム終了後に収入を計上しており、コロナ禍で中断していたプログラムの再開による収入が2022年度に計上されていることから、当該年度の収入は通常よりも多くなっている。